

こんばちは三原じゅん子です

NO.22 2011年 11月 21日

日本共産党 名張市議会議員

三原 じゅん子

すずらん台西4-202

■ 0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！

「日本の農業を守りたい」街頭で訴え
国会でも党派を超えたTPP参加反対の共同が広がっています。三原じゅん子とともにがんばります。

つい先日まで日中は汗ばむほどでしたが、11月に入り朝晩めつきり冷え込むようになります。激しい気温の変動は身体にこたえます。どうぞ皆さんお身体にお気をつけください。

さて、TPP（環太平洋連携協定）参加に対して、JA全中・医療関係者・消費者・地方自治体などで連日にわたりデモや集会が行われ、反対の声が広がっています。

関税原則撤廃のTPPは、農産物の輸入を自由化するもので、食料自給率が現行の39%から13%に落ち、国民の食料に大きな打撃となります。暮らしと経済のあらゆる分野に影響し、これまで日本が築いてきた食、医療、金融、保険、労働など国民の生活や安全を守るルールと監視体制が崩れ、日本の国のかたちを根底から変えてしまうことが危惧されます。



子ども医療費が小学校卒業まで無料になります！

現在は就学前まで無料。年齢拡大の実施はH24年9月の予定。

9月議会云報告



窓口無料化を引き続き
求めます

無保険家庭の18歳未満の子どもには保険証が交付されることになっている。確実に届いているか？

他市・町ではすでに中学校卒業まで無料化がすすんでいる。鈴木知事の公約「医療費無料化年齢拡大」実施に名張市の対応は？

東海4県の中で窓口無料化を実施していないのは三重県だけ。窓口無料化の実施を。

子育て世代の声は…

アレルギーで

定期的に受診が必要だが
医療費がかさむため受診を控えて
アトピーが悪化したことがあったが
年齢拡大がされて
病院にいけるようになるので
よかったです

医療費無料化の年齢までは、
子どもが具合が悪くなったら
病院に行っていたが
無料化の対象外になつたら
子どもの様子を見て
受診抑制をしていました

子ども医療費無料化が
拡大されたことは
社会全体が子育てを
応援してくれていると感じ
うれしく思う

子ども医療費無料化でも
病院での支払いは必要なので
現金がなければ受診できない
会計時まで金額はわからない
苦しい家計なのでヒヤヒヤする

窓口で支払い後から返金を受ける方は
病院や市の事務処理が
余計にかかる非効率に感じる

窓口無料化は
他県(他市)で実施されていて
三重県(名張市)が実施していないことは
若い子育て世代が
他県・市に行ってしまうと思う

子どもを受診させたくてもためらう家庭があることを、市はもっと考
えるべきです。

日本共産党名張市議団は、1990年代から一貫して「子どもの医療費無料化」に取り組んできました。市民の声を聞き、署名を集め、請願に賛同し、幾たびも議会で主張し続けてきました。これからも粘り強く活動していきます。ご協力よろしくお願ひします。



●「短期保険証」「資格証明書」が交付されている世帯から、18歳未満の子どもを抽出し、6カ月の短期保険証を簡易書留で送付している。

- 子どもの医療費無料年齢拡大については県と連携していく。名張市では条例の改正が必要。
- 窓口無料化は、実施に伴う医療費の増加や国庫負担の減額が考えられる。まず対象年齢拡大を優先していく。

